

科目	健康支援と保健活動				
時間数	2単位30時間	授業方法	講義	授業時期	2年
講師名	①高橋美由紀				
実務経験	①保健師(在宅介護支援センター等)				
ねらい	あらゆる年代のあらゆる場所で生活あるいは療養する人々が、より健康に自分らしく生活または療養するために、直面している問題に自ら積極的に取り組むための支援方法を学ぶ。				
目標	1. 衛生行政、衛生統計、健康教育等学び、社会資源を活用できる能力を身につけることができる。 2. 社会全体の健康生活を支える保健・医療・福祉の知識を深め、医療従事者として協働する必要性を理解し、行動できる。				
授業計画					
回	内容				
1	公衆衛生のエッセンス 公衆衛生の活動対象				
2	公衆衛生のしくみ 保健所による出前講座受講(「公衆衛生向上と市民の健康づくりの活動」の実際を知る)				
3	疫学・保健統計 環境と健康				
4	感染症とその予防策				
5	国際保健・健康危機管理・災害保険				
6	公衆衛生看護とはなにか 母子保健				
7	成人保健、				
8	高齢者保健、				
9	精神保健、歯科保健				
10	障害者保健、難病保健				
11	学校と健康				
12	職場と健康				
13	健康支援の技術 演習①				
14	健康支援の技術 演習③				
15	学習のまとめ				
評価方法	その時間数の3分の2以上の出席者に限り受験資格を与える。 学科終講時に行う筆記試験 60%、演習課題 30%、課題レポート 10%を総合して評価する 60点以上を及第点とする。				
教科書	国民衛生の動向:厚生統計協会 健康支援と社会保障制度②公衆衛生:医学書院				